

6月13日（月） 「つらいは宝物」

土曜日の学校公開にはたくさんの方がお見えになりました。みなさんの学習の様子を見ていただきましたね。今日、そして、明日も学校公開が続きます。ぜひ、頑張っている姿を見ていただきましょう。また、4年生の皆さんは音楽家の島筒英夫先生のお話を道徳の時間にうかがいました。島筒先生は2歳のときに病気がもとで目が見えなくなりました。その後、様々な努力を重ねてピアニストになり、皆さんも知っている「さよならぼくたちのようちえん」を作曲した先生です。4年生の皆さんはお話だけではなく、素敵なピアノの演奏も聞かせていただきました。先生は「自分にとってつらいことは宝物です。」というお話をされました。目が見えないことは様々な場面でつらいこともあったこと



と思えます。しかも目が見えない状態でピアノを弾くということは私たちが想像する以上に大変なことだと思います。でも島筒先生は「そんなつらい思いが自分にピアノとの出会いやその後の人生の楽しみを与えてくれた。」と明るく語ってくださいました。私たちから見れば大変だなと思うことでもその方にとっては大きな力の元になっていることもあるのですね。

さて皆さんはどうでしょう。つらいなと思うことを自分の宝物に変えたことはありますか？なかなか難しいことですね。「つらいこと」をただつらいと思わず、『ちがう道筋の始まり。』と考えていくこともときには必要なことだと先生のお話を聞いていて思いました。ぜひ皆さんもつらいなと思った時は、この島筒先生のお話を思い出してみてください。自分に新しい力が湧いてくるかも知れませんね。

また、昨日は葛西地区のスーパードッジボール大会でした。西葛西小学校からも低学年6チーム、高学年8チームの計14チームが参加しました。チーム全員が力を合わせてゲームをする姿に心が熱くなり、私もついつい大きな声で応援してしまいました。PTAのちからこぶ委員会のお父さんたちが一生懸命練習会を開いてくださったおかげで、どのチームも大活躍でした。今日はこの後に表彰をしたいと思えます。参加、応援をしてくださった皆さんご苦労さました。お手伝いをしてくださったPTAのお父さん、お母さんにもぜひ心からのお礼を伝えておきましょう。